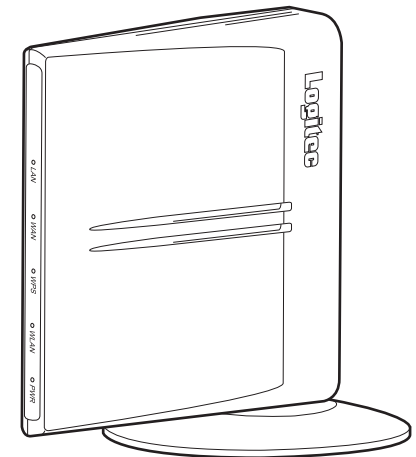
Wireless Access Point

IEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANアクセスポイント

LAN-PW150N/AP

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアクセスポイント「LAN-PW150N/AP」を「本製品」と表記しています。
11n	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
G-Next	IEEE802.11nの技術を使い、11n準拠のアダプタとの間で最大150Mbpsの高速転送を実現した、ロジテックのオリジナル技術を「G-Next」と表記しています。
無線AP	無線LANアクセスポイントを略して「無線AP」と表記しています。
無線アダプタ	PCカードタイプの無線LAN カード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線LANアダプタ」を略して「無線アダプタ」と表記しています。
無線クライアント	無線アダプタを取り付けたパソコン、または無線LAN機能を内蔵したパソコンを「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- ●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- ●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- ●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ●Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANアクセスポイント

LAN-PW150N/AP

User's Manual

ユーザーズマニュアル

は じ め に

この度は、ロジテックの無線LANアクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには無線LANアクセスポイントを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアクセスポイントを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ **警　告**	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
⚠ **注　意**	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

⚠ 警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概 要 編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）

TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし、夏期、年末年始の特定休業日、祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に

お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。

◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は、パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は、詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容

◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象、事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●家庭用ゲーム機との接続に特化したコンパクトな無線AP

幅83mm×奥行79mm×高さ17mmの超コンパクトサイズの無線AP（無線LANアクセスポイント）です。縦置きも、横置きも可能になっていますので、お部屋のちょっとしたスペースに設置できます。家庭用ゲーム機と接続する場合、本製品側の設定は一切不要です。

●パソコンとの無線接続にも使用可能

家庭用ゲーム機以外にパソコンとの接続にも利用できます。WEPやWPAといったセキュリティ設定にも対応し、設定ユーティリティで簡単に設定できます。カバンのポケットに入るほどの軽量コンパクトサイズですから携帯も可能です。出張先でホテルのLAN端子に接続することで、ワイヤレスでパソコンからインターネットに接続するような使い方も可能です。

●IEEE802.11n準拠で最大150Mbps（理論値）の高性能な無線AP

本製品は、IEEE802.11nに準拠し、11n準拠の無線アダプタまたは、弊社の「G-Next」に対応した無線アダプタ搭載のパソコンと組み合わせることで、無線LANでの通信において最大150Mbps（理論値）という高速なデータ通信を実現します。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

無線機能搭載のパソコンとの接続において、面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品背面のWPS/Resetボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPSボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線LAN接続を簡単に完了できます。また、設定ユーティリティを使った「PIN方式」での設定も可能です。

●LEDランプを消灯できる「節電モード」を搭載

普段はほとんど見ることがない無線APのLEDランプ。そこでLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を搭載しました。節電効果はもちろん、お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じられる場合にも役立ちます。点灯/消灯の設定は、ユーティリティ上で簡単に変更できます。

※電源ランプのみ節電モードでも点灯します。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

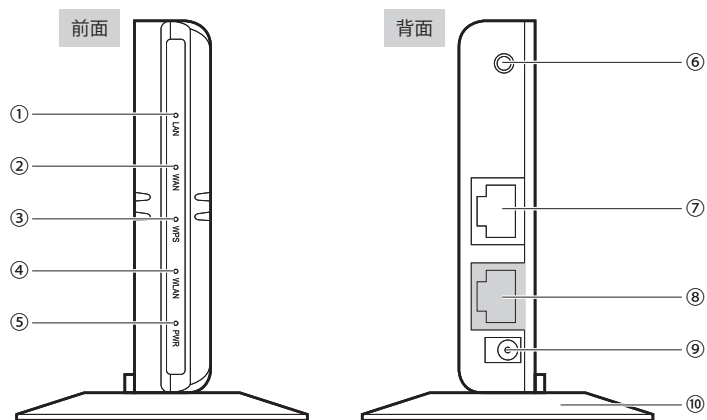
●その他、豊富な機能を搭載

・接続する無線LAN規格を選択可能
・ファームウェアが設定ユーティリティから簡単にアップデート可能

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000/Me/98SEを搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.5/10.4）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

4 各部の名称とはたらき

※ランプの状態は、いずれも「ランプ点灯モード」の状態を表します。「ランプ省電力モード」では、PWRランプのみ点灯します（LAN/WANランプは、通信時のみ点滅します）。

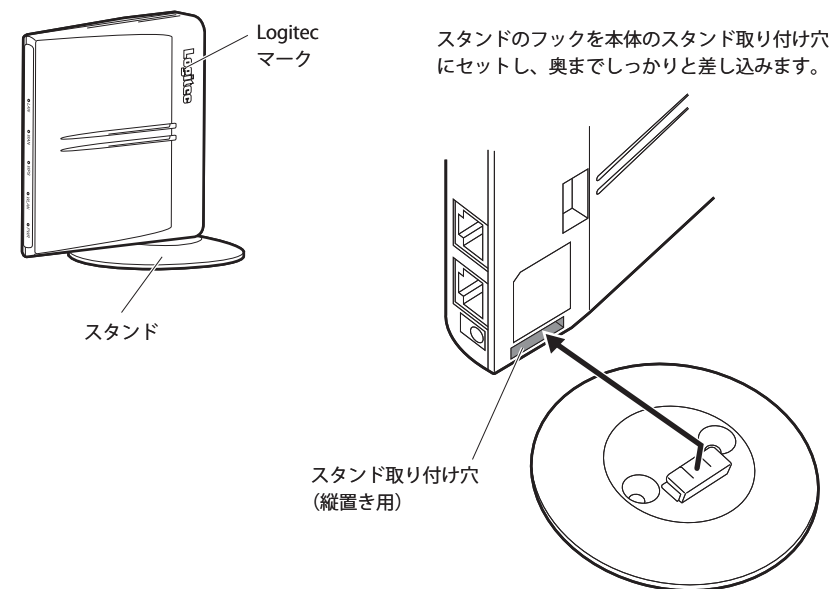
番号	名称	はたらき
①	LANランプ（青色）※	点灯：有線LANのクライアントとリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
②	WANランプ（青色）※	点灯：ルータ側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
③	WPSランプ（赤色）※	WPS機能に対応した無線子機を本製品に接続する場合に使用します（ゲーム機と接続する場合は使用しません）。
④	WLANランプ（青色）※	点滅：無線LAN機能を使用中です（電波を発信しています）。
⑤	PWRランプ（青色）※	点灯：本製品の電源が入った状態です。
⑥	WPS/Resetボタン	本製品とWPS機能搭載の無線クライアント（無線アダプタなど）との無線LAN接続を設定できる「WPS設定機能」と、本製品の設定値を初期化する「リセット機能」の2つのはたらきを持つボタンです。1秒押して離すとWPSランプが点灯し、WPS機能がはたらきます。10秒以上押すと、PWRランプが5秒間点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。PWRランプが点滅している状態では、電源を切らないでください。
⑦	LANポート	Wiiのオンライン通信ゲームを有線接続で楽しむ場合や、本製品の詳細な設定を行う際にパソコンをLANケーブルで接続します。
⑧	WANポート（青色）	本製品とルータを付属品のLANケーブルで接続するポートです。
⑨	電源ジャック	本製品に付属のAC アダプタを接続します。本製品に付属以外のACアダプタを接続しないようにしてください。
⑩	スタンド	本製品を縦置き/横置きのいずれで設置する場合にも使用します。

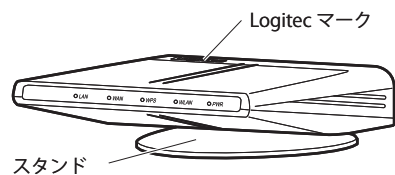
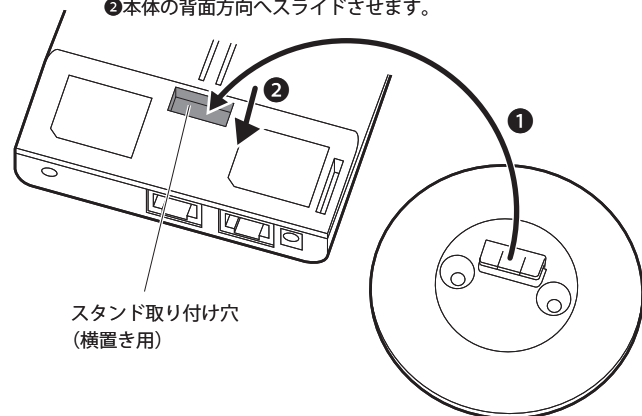
●設置時のご注意

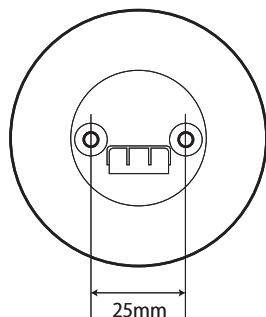
本製品は縦置き、横置きの両方に対応しています。縦置き/横置きいずれの場合も、必ず付属のスタンドにセットしてご使用ください。

いずれの方向で設置する場合も、転落・引き抜け防止措置をとってください。本製品が動作している状態での転落や、コネクタ類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。

◆縦置き時

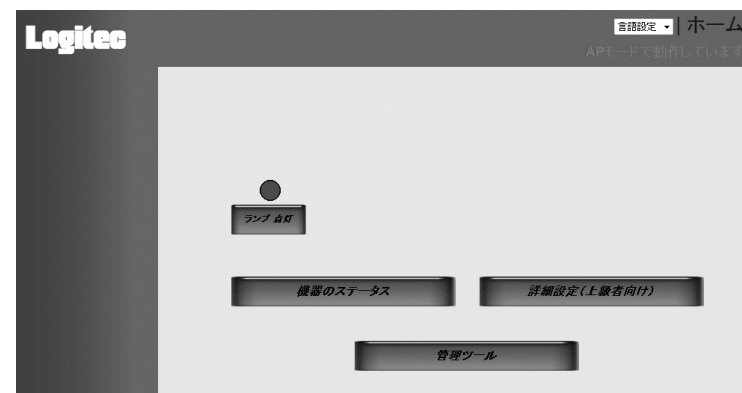
縦置きの場合は、LEDランプを前面として、Logitecマークが右側面の上側になるように設置します。

◆横置き時

横置きの場合は、LEDランプを前面として、Logitecマークが上面になるように設置します。

●壁面などへのネジ止めで固定する場合

本製品は壁面などに設置できるように、スタンドに2か所のねじ穴を用意しています。固定には直径（呼び径）3mmのネジ2本が必要です。設置面の素材および構造をお確かめになり、十分な強度を確保したうえで、本製品を取り付けてください。
また、本製品への電源供給のために設置場所近くにACコンセントが必要です。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティの[ホーム]に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには
設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、無線LANでパソコンから本製品にアクセスできるようになっている必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法
P34「1. 設定ユーティリティの表示」をお読みください。

ボタン名	内容	参照ページ
機器のステータス	機器の状態を表示します。	→P59～
詳細設定（上級者向け）	本製品の設定をカスタマイズします。項目によっては、ネットワークに関する十分な知識が必要です。	→P37～
管理ツール	本製品のファームウェアをアップデートしたり、設定を初期値に戻したりできます。	→P54～
ランプ点灯/ ランプ省電力モード	本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を選択できます。お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じられる場合にも役立ちます。 [ランプ点灯]と表示されているときは、LEDランプが点灯する状態です。[ランプ省電力モード]と表示されている場合は「節電モード」です。 ※電源ランプのみ、節電モードでも点灯します。	→P63～

Chapter 2

導 入 編

本製品の導入方法について

本製品は、おもに家庭用ゲーム機との接続にご使用になることを前提としております。本製品を使って家庭用ゲーム機を無線LANで接続する手順については、本製品に添付の別紙「かんたんセットアップガイド[1.準備編]および[2.設定編]」をお読みください。
Chapter 2では、本製品をパソコンと接続する場合、無線のセキュリティ設定をした状態で使用したい場合にお読みください。

1 本製品を接続する

本製品をルータに接続します。接続する機器によって、このあとお読みになる説明書や作業手順が異なります。「接続の前に」をお読みになりご確認ください。

接続の前に

本製品をどのような機器と接続するかによって、お読みになる説明書や作業手順が異なります。下記の説明をお読みになりご確認ください。

家庭用ゲーム機と接続する場合

本製品に添付の別紙「かんたんセットアップガイド[1.準備編]および[2.設定編]」をお読みください。本製品の接続方法から各ゲーム機の設定方法までの手順が詳しく説明されています。別紙が見つからない場合は、ロジテック・ホームページからダウンロードすることができます。

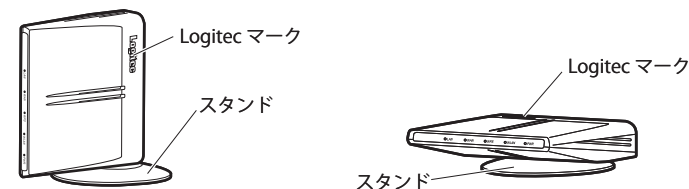
家庭用ゲーム機と通信するデータを暗号化したいときは
このマニュアルのP21「2.本製品のセキュリティを設定する」をお読みになり、本製品側のセキュリティ機能を設定してください。セキュリティの設定値をメモしたうえで、家庭用ゲーム機の説明書をお読みになり、家庭用ゲーム機側の設定をしてください。
※家庭用ゲーム機の種類によって、設定できるセキュリティ機能が異なります。あらかじめ家庭用ゲーム機に付属の説明書をお読みになり、確認しておいてください。

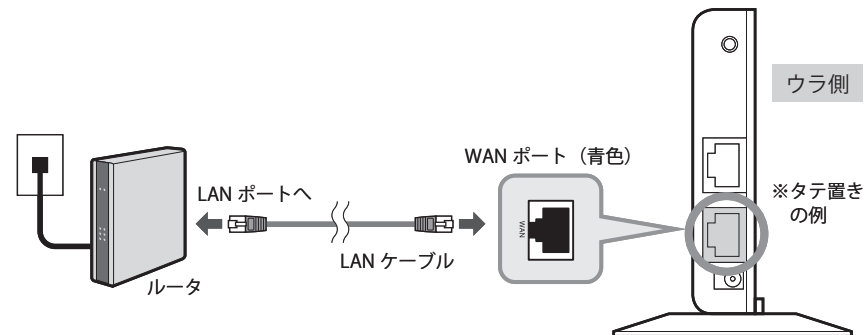
パソコンと接続する場合

●セキュリティ設定をしない（データを暗号化しない）場合
本製品～パソコン間で、無線LANによるデータの送受信を「暗号化しない」場合は、無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）にインストールされた設定ユーティリティやOS標準の無線LAN機能を使って、SSID「logitecuser」を選択するだけで接続できます。設定の手順については、このあとの「本製品を接続する」の作業をしたあと、P26「セキュリティ設定なしで接続する」をお読みください。

●セキュリティ設定をする（データを暗号化する）場合
本製品～パソコン間で、無線LANによるデータの送受信を「暗号化する」場合は、本製品のセキュリティ設定で暗号化の設定をしたあと、無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）と接続できるように設定します。設定の手順については、このあとの「本製品を接続する」の作業をおこなう前に、P21「2.本製品のセキュリティを設定する」をお読みください。

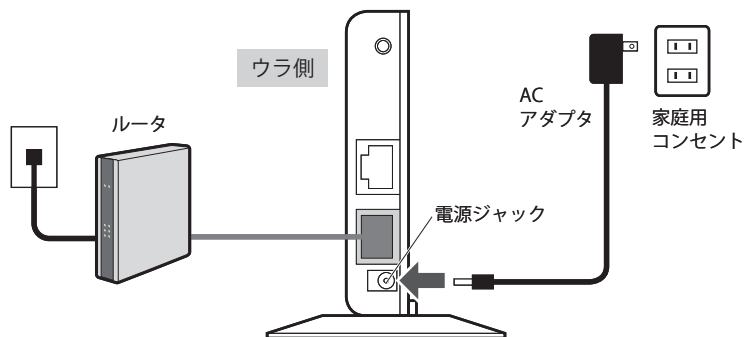
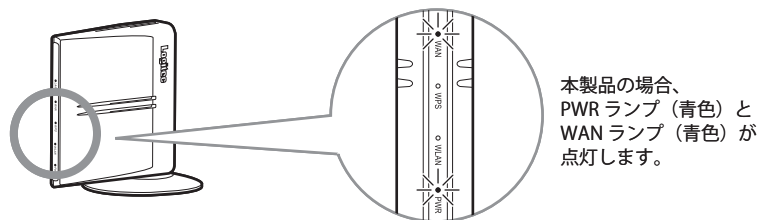
本製品を接続する

1 本製品にスタンドを取り付けます。

・取り付け方法のくわしい説明は、P13「設置時のご注意」をお読みください。
・本製品はタテ置きでも、ヨコ置きでも使えます。必ず、スタンドを取り付けてください。

2 ルータのウラ側にある「LANポート」と本製品のウラ側にある「WANポート（青色）」を、付属のLANケーブルで接続します。

・ご家庭によって、ルータの種類は異なります。マンションなどでは壁にジャックがある場合もあります。
・LANポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。

3 ルータの電源が入っていることを確かめます。

・電源が入っていないときは、電源をオンにします。モデムがある場合は、モデムの電源も入れます。

4 付属のACアダプタと本製品を接続し、家庭用コンセントに差し込みます。

5 本製品の電源が入っていることを確かめます。

6 セキュリティ設定の内容によって、このあとの手順が異なります。

セキュリティ設定なしで、接続する場合	P26「セキュリティ設定なしで接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、WPSボタンを使って接続する場合	P27「WPSボタンを使って接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、WPS機能の「PINコード」を使って接続する場合	P29「PINコードを入力して接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、手動設定で接続する場合	セキュリティ設定でメモした内容（→P25）をご用意いただいたうえで、P31「手動設定で接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、家庭用ゲーム機と接続する場合	セキュリティ設定でメモした内容（→P25）をご用意いただいたうえで、家庭用ゲーム機に付属の説明書をお読みください。

2 本製品のセキュリティを設定する

本製品～パソコン間で、無線LANによるデータの送受信を暗号化する場合は、本製品側のセキュリティ設定が必要です。

本製品の設定ユーティリティへの接続について

本製品の設定ユーティリティを使用するには、設定用のパソコンをご用意いただき、パソコンのWebブラウザからアクセスする必要があります。

●接続のポイント

・本製品のIPアドレスの初期値は「192.168.2.1」です。本製品の設定ユーティリティに接続するには、設定用パソコンからこのIPアドレスに接続できるネットワーク設定が必要です。

・設定用パソコンのIPアドレスを一時的に自動取得から手動設定に変更し、「192.168.2.101」などを割り当ててください。

IPアドレス	192.168.2.xxx（192.168.2.1を除く）
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.1

・設定用パソコンの有線LANポートと本製品のLANポートを、LANケーブルで接続する必要があります。LANケーブルは別途ご用意いただく必要があります。

設定ユーティリティを表示する

設定用パソコンから本製品の設定ユーティリティに接続します。

本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です
本製品の設定ユーティリティには、パソコンで接続します。本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1（初期値）」に設定されていますので、このIPアドレスに接続できる環境をご用意ください。詳しくは前項のP21「本製品の設定ユーティリティへの接続について」をお読みください。

1 **本製品の電源を入れます。設定用のパソコンを起動します。**

2 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

3 **Webブラウザの「アドレス」欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。**

（画面はInternet Explorerの例です）

・このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 **認証画面が表示されます。**

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。

①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。

②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンを起動してみてください。

③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P68「2. パソコンのIPアドレスの確認方法」）。

5 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。**

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P58「パスワード設定」）。

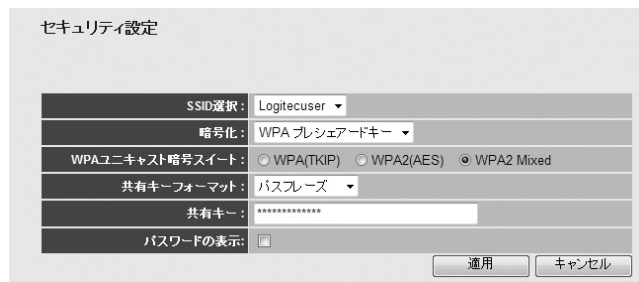
本製品のセキュリティ設定をする（データの暗号化）

本製品のセキュリティ設定は､初期値では「セキュリティ設定なし（データを暗号化しない）」に設定されています。データを暗号化する場合は、本製品のセキュリティ設定をしてから、無線クライアント（無線機能搭載のパソコンや家庭用ゲーム機）のセキュリティ設定をする必要があります。

1 **設定ユーティリティの［ホーム］で、［詳細設定（上級者向け）］を選択します。次に左のメニューリストから［無線LAN設定］→［セキュリティ設定］を選択し、〈セキュリティ設定〉画面を表示します。**

2 **このあとは、選択したセキュリティ機能（暗号化）にあわせて、セキュリティを設定します。設定方法については、それぞれのセキュリティ機能の説明をお読みください。**

WEPの場合	P47「WEPの設定」をお読みになり、設定してください。 家庭用ゲーム機との接続にWEPをお使いになる場合は、［初期送信キー］を、必ず「キー1」に設定してください。
WPAプレシェアードキーの場合	P50「WPAプレシェアードキーの設定」をお読みになり、設定してください。

◆WPAプレシェアードキーを設定した画面例

3 **パソコン側の無線機能を手動で設定する必要がある場合、および家庭用ゲーム機と接続する場合は、以下の設定内容をメモしておきます。**

・SSID
・暗号化方式（WEPまたはWPA）
・WEPの場合、キー長、キーフォーマット、初期送信キー、暗号化キー
・WPAプレシェアードキーの場合は、WPAユニキャスト暗号スイート、
　共有キーフォーマット、共有キー
※設定した暗号化の内容により、項目が異なります。

4 **Webブラウザを閉じ、設定を完了します。**

5 **設定用パソコンと本製品を接続したLANケーブルを取り外します。P18「1.本製品を接続する」へ進み、ルータと本製品を接続します。**

・設定用パソコンのIPアドレスは、元の設定値に戻してください。

3 無線LANで接続する

本製品に無線クライアント（無線機能搭載のパソコンや家庭用ゲーム機）から無線LANで接続する手順を説明します。ご使用の環境にあわせてお読みください。

セキュリティ設定なしで接続する

無線クライアントから、「セキュリティ設定なし（データを暗号化しない）」で本製品に接続する場合の手順です。本製品の初期値は、「セキュリティ設定なし」です。なお、無線クライアント側の無線設定の方法については、無線クライアント側の説明書をお読みください。

家庭用ゲーム機と接続するとき
本製品に添付の別紙「かんたんセットアップガイド[1.準備編]および[2.設定編]」をお読みください。本製品の接続方法から各ゲーム機の設定方法までの手順が詳しく説明されています。別紙が見つからない場合は、ロジテック・ホームページからダウンロードすることができます。

1 **本製品の電源が入っていることを確認します。**

2 **無線クライアントの設定ユーティリティやOS標準のワイヤレス接続を表示します。**

3 **リストに表示された接続可能なSSIDの中から、「logitecuser」を選択し、接続します。**

◆弊社製無線アダプタの画面例

・接続方法は、無線クライアント（アダプタ等）の説明書をお読みください。

4 **正しく接続できれば、設定は完了です。**

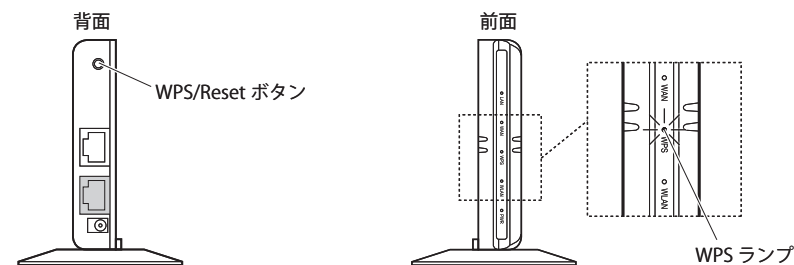
WPSボタンを使って接続する

弊社製無線アダプタなど最新の無線アダプタの多くは、WPS機能に対応しています。WPS機能を使えば、WPSボタンを押すだけで、セキュリティ機能を含んだ無線LAN設定が可能です。

WPS実行時の無線LAN設定について
本製品は、初期値（工場出荷時）の状態では、セキュリティ設定がされていません。ただし、WPS機能を実行した時点で、本製品および無線クライアントには、以下の無線LAN設定が保存されます。
・SSID：logitecuser　・セキュリティ設定：WPA2-PSK（AES）

1 **本製品と無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）を、確実に通信できる場所に用意します。**

2 **無線アダプタの説明書をお読みになり、無線アダプタ側が「WPS」機能を設定できるように準備します。**

3 **本製品の背面上部にある「WPS/Resetボタン」を1秒押して離します。**

・前方にあるWPSランプが赤色に点灯し、WPS対応の無線LANクライアントの接続を待つ状態になります。WPSランプの点灯中に接続を完了する必要があります。

本製品のWPS/Resetボタンは、「WPS設定機能」と「リセット機能」の2つの機能を兼用しています。10秒以上押すと「リセット」機能がはたらき、設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。ボタンは、1秒押して離してください。

接続が完了するか、一定時間（約2分間）がすぎるとWPSランプは消灯します。

4 **無線アダプタ側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

・弊社製のWPS対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を1秒以上押します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 **無線アダプタ側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。**

弊社製無線アダプタの画面例

・本製品のWPSランプは消灯します。

6 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテック Web サイト http://www.logitec.co.jp/

7 **これでWPS機能を使った無線クライアントの設定は完了です。**

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。本製品に設定されたPINコードを無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）側に入力する方法と、無線クライアント側に設定されたPINコードを本製品に入力する方法があります。ここでは本製品に設定されたPINコードを無線クライアントの設定ユーティリティに入力する場合の操作の流れを説明します。

●WPS実行時の無線LAN設定について

本製品は、初期値（工場出荷時）の状態では、セキュリティ設定がされていません。ただし、PINコードによるWPS機能を実行した時点で、本製品および無線クライアントには、以下の無線LAN設定が保存されます。

・SSID：各機器ユニークなID※　・セキュリティ設定：WPA2-PSK（AES）

※他の機器とは重複しない固有のIDです。

●無線クライアント側のPINコードを本製品に入力する場合

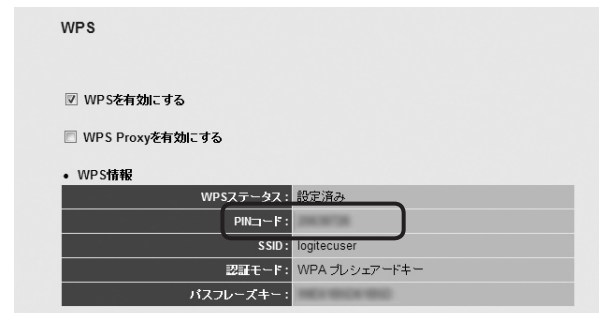
P45「WPS機能の設定」をお読みになり、本製品のモード設定を「レジストラ」に設定したうえで、無線クライアント側のPINコードを入力し、実行してください。

1 **本製品と無線クライアントを、確実に通信できる場所に用意します。**

2 **本製品の設定ユーティリティを表示します。**

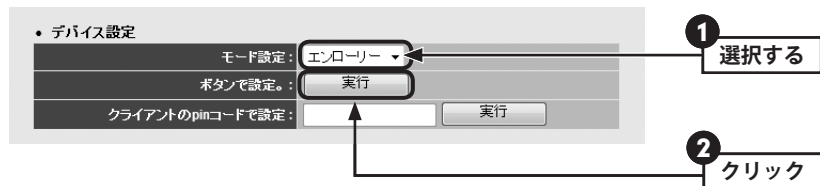
・設定ユーティリティの表示方法については、P35「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

3 **設定ユーティリティの[ホーム]で[詳細設定（上級者向け）]を選択し、左のメニューリストから[無線LAN設定]→[WPS]を選択して、〈WPS〉画面を表示します。**

4 **「WPS情報」の「PINコード」をメモします。**

本製品のPINコード

5 **無線アダプタの説明書をお読みになり、無線アダプタのPINコードの［設定モード］を「Registrar」に設定してから、本製品のPINコードを無線アダプタ側に入力します。**

弊社製無線アダプタの画面例

6 **本製品の設定ユーティリティの〈WPS〉画面で［モード設定］に「エンローリー」を選択し、［ボタンで設定。］の 実行 をクリックします。**

7 **無線アダプタ側でPINコードの受信を実行します。**

弊社製無線アダプタの画面例

8 **設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。**

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）の場合は、無線アダプタ側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。無線アダプタの説明書と、以下の作業の流れを参考にして、本製品に設定した内容を無線アダプタ側に設定してください。

家庭用ゲーム機と接続するとき
本製品に設定したセキュリティ設定の内容（→P25）のメモをお手元にご用意いただき、家庭用ゲーム機に付属の説明書を見ながら、セキュリティ設定をおこなってください。

1 **本製品と無線クライアントを、確実に通信できる場所に用意します。**

2 **無線アダプタの設定ユーティリティを起動します。**

3 **設定ユーティリティのリストのSSIDに「logitecuser」と表示された場合は選択します。**

・SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線アダプタの設定ユーティリティにある「SSID」に「logitecuser」と半角英数字で入力します。

4 **メモ書きしておいた本製品のセキュリティ設定の内容を、無線アダプタの設定ユーティリティにあるセキュリティまたは暗号化に関する設定画面に入力します。**

・無線クライアント（無線アダプタ）側の設定方法については、無線アダプタに付属の説明書をお読みください。

5 **設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。**

Chapter 3

詳細設定 編

1 設定ユーティリティの表示

本製品の設定ユーティリティは、パソコンのWebブラウザ経由で接続して、設定します。

本製品の設定ユーティリティへの接続について

本製品の設定ユーティリティを使用するには、設定用のパソコンをご用意いただき、パソコンのWebブラウザからアクセスする必要があります。

●**接続のポイント**

・本製品のIPアドレスの初期値は「192.168.2.1」です。本製品の設定ユーティリティに接続するには、設定用パソコンからこのIPアドレスに接続できるネットワーク設定が必要です。
・設定用パソコンのIPアドレスを一時的に自動取得から手動設定に変更し、「192.168.2.101」などを割り当ててください。

IPアドレス	192.168.2.xxx（192.168.2.1を除く）
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.1

・設定用パソコンの有線LANポートと本製品のLANポートを、LANケーブルで接続する必要があります。LANケーブルは別途ご用意いただく必要があります。

設定ユーティリティを表示する

設定用パソコンから本製品の設定ユーティリティに接続します。

本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です
本製品の設定ユーティリティには、パソコンで接続します。本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1（初期値）」に設定されていますので、このIPアドレスに接続できる環境をご用意ください。詳しくは前項のP21「本製品の設定ユーティリティへの接続について」をお読みください。

1 **本製品の電源を入れます。設定用のパソコンを起動します。**

2 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

3 **Webブラウザの「アドレス」欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。**

（画面はInternet Explorerの例です）

・このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 **認証画面が表示されます。**

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。

①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。

②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンを起動してみてください。

③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P68「2. パソコンのIPアドレスの確認方法」）。

5 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。**

ユーザー名	admin
パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P58「パスワード設定」）。

2 LAN側の設定をする

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。本製品のDHCPサーバ機能は「無効」で固定です。そのためDHCPサーバに関する設定はできません。

画面の表示　**［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［LAN側設定］を選択します。**

IPアドレスとDHCPサーバ機能の設定

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新！ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●LAN IP

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを入力します。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなどLANから外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータのLAN側IPアドレスを入力します。
DHCPサーバ	本製品では、「無効」で固定です。

3 無線LANの設定をする

本製品の無線LAN機能を設定します。

無線LAN機能の有効/無効の設定

無線LAN機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線LAN設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新！ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●無線機能

有効	無線LANに関する各種設定を有効にします。無線LAN機能が使用できます。
無効	無線LANの設定をすべて無効にします。無線LAN機能を使用できなくなります。

無線LANの基本設定

［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線LAN設定］→［基本設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新！ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

項目		内容
モード		本製品で使用できるモードは「Access Pointモード」だけです。リストに表示される他のモードは使用できません。他のモードを選択した場合、正常に動作しません。また、弊社のサポート対象外となります。
帯域	2.4 GHz（B＋G＋N）	初期値です。IEEE802.11n/11g/11bの3規格を使用します。
	2.4 GHz（B）	IEEE802.11b規格だけを使用します。
	2.4 GHz（N）	IEEE802.11n規格だけを使用します。
	2.4 GHz（B＋G）	IEEE802.11g/11bの2規格を使用します。
	2.4 GHz（G）	IEEE802.11g規格だけを使用します。
SSID		無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「logitecuser」が登録されています。 マルチSSID をクリックすることで、2つ目以降のSSIDを設定できます。最大4つのSSIDを登録し同時使用できます。設定方法についてはP40「マルチSSIDの設定」をお読みください。
チャンネル		使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1〜13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（例）1ch/6ch/11ch
関連クライアント		通信中のクライアントPCを表示する をクリックすると、無線LANで接続しているクライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。

マルチSSIDの設定

本製品の初期値のSSIDは「logitecuser」ですが、このあとに説明する手順で最大4個のSSIDを登録することができます。

3個あるいは4個のSSIDを同時に使用する場合、本製品に負荷がかかり、通信速度が低下する場合があります。通常は、2個までの使用を推奨します。

〈マルチSSID〉画面では3個のSSIDを登録できます。基本となる1個目のSSIDは、〈基本設定〉画面での登録になります。

❶「無線LAN設定」の〈基本設定〉画面を表示します。
❷ マルチSSID をクリックします。
❸ 使用するSSID番号の[有効]をチェックします。
❹ [SSID]にSSIDを入力します。
❺ 必要に応じて高度な設定をします（→P41「無線LANの詳細設定」参照）。
❻ 設定が終われば 適用 をクリックします。
❼「設定の保存に成功しました。」と表示されますので 更新！ をクリックします。
❽ OK をクリックします。
❾〈マルチSSID〉画面に戻りますので画面を閉じます。

無線LANの詳細設定

無線LANの高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LANに関する十分な知識が必要です。

画面の表示　**［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線LAN設定］→［詳細設定（上級者向け）］を選択します。**

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新！ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●詳細設定　各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）
RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。（初期値：100）
DTIMピリオド値	ビーコン間隔に対して、どの程度の割合でDTIMを送信するかを設定します。例えば、ビーコン間隔が「100ms」でDTIMを「3」に設定した場合は、300ms間隔でDTIMが含まれるビーコンを送信することになります。（初期値：3）
データレート	11g/11b規格の通信における伝送速度を設定します。「Auto」に設定しておくと、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。（初期値：Auto）
Nデータレート	11n規格の通信における伝送速度を設定します。「Auto」に設定しておくと、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。 （初期値：Auto）
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 20/40 MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
プリアンブルタイプ	無線通信の同期をとるプリアンブル信号の種類（長さ）を選択します。ショートプリアンブルのほうが伝送速度を速くすることができます。ただし、古いタイプの無線クライアントを使用する場合などは、互換性を確保するために「ロングプリアンブル」を選択します。（初期値：ショートプリアンブル）
ブロードキャストSSID	「有効」の場合は、クライアント側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「無効」にした場合は、クライアント側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。（初期値：有効）
CTSプロテクト	11gと11bを併用する場合に11bの帯域を確保するかを設定します。（初期値：なし） 自動：状況に応じて帯域を確保します。 常時：常に11bの帯域を確保します。 なし：11bのために十分な帯域を確保しません。
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。（初期値：100%）
ターボモード	電波強度を高めます。（初期値：有効）
WMM	WMM（Wi-Fi Multimedia）により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。（初期値：無効）

アクセスコントロールの設定（MACアドレスフィルタ）

登録したMACアドレスを持つ無線クライアントとだけ無線LANで通信できるようにします。第三者の無線クライアントからの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の表示　**［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線LAN設定］→［アクセスコントロール］を選択します。**

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新！］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●**MACアドレスフィルタリングテーブル**

NO.	登録番号です。同時に登録できるMACアドレスは20セットまでです。
MACアドレス	本製品に無線LANでアクセスすることを許可するクライアントのMACアドレスです。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。
選択	登録内容を消去する場合にチェックします。
アクセスコントロールを有効にする	この項目をチェックしている場合に、MACアドレスフィルタリングテーブルに登録したMACアドレスを持つクライアントだけが無線LANで接続できます。

●**各ボタンの機能**

消去	［選択］をチェックしたクライアントをリストから削除します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
追加	入力したクライアントの設定をリストに追加します。
消去	入力中の内容を消去します。

クライアントの登録方法

❶［アクセスコントロールを有効にする］をチェックします。
❷ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
❸ クライアントを区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 追加 をクリックします。MACアドレステーブルに無線クライアントが追加されます。
❺ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶〜❹を繰り返します。
※ 適用 をクリックして保存操作をしたのちに、設定が反映されます。

WPS機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。

［ホーム］で［詳細設定（上級者向け）］を選択し、左のメニューリストから［無線LAN設定］→［WPS］を選択します。

●**WPSを有効にする**
WPS機能を使用する場合はチェックします。（初期値：有効）

●**WPS Proxyを有効にする**
WPSプロキシの有効/無効を設定します。
通常は無効のままのご利用で問題ありません。（初期値：無効）
※ご使用のファームのバージョンによっては、この項目が表示されない場合があります。

●**WPS情報**
WPS機能を実行したときに反映される設定内容を表示します。

●**デバイス設定**

モード設定	本製品側で無線アダプタのPINコードにあわせる場合は「レジストラ」を、無線アダプタ側で本製品のPINコードにあわせる場合は「エンローリー」を選択します。（初期値：レジストラ）
ボタンで設定。	実行 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
クライアントのpinコードで設定	本製品側で無線アダプタのPINコードにあわせる場合に、ここに無線アダプタ側のPINコードを入力し、実行 をクリックします。

4 セキュリティを設定する（無線の暗号化）

無線LANで使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

設定可能な暗号化セキュリティ機能

WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境で「WPAプレシェアードキー」が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPAプレシェアードキー（WPA-PSK）	新しい暗号化方式です。データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEPよりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。
WPA RADIUS	専用のRADIUS認証サーバを用意することで、クライアントがネットワークに接続するための認証手段を厳格におこなうことができます。おもにビジネスユースで利用されています。

WEPの設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。

◆WEP選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順

注 意

本製品および本製品に接続する、すべての無線クライアントは、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1 ［SSID選択］で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

2 ［暗号化］で、［WEP］を選択します。

3 ［キー長］でbit数を選択します。通常は128bitを選択します。

ご使用になる無線クライアントが64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線クライアントに1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 ［キーフォーマット］で暗号化キーの入力形式を選択します。

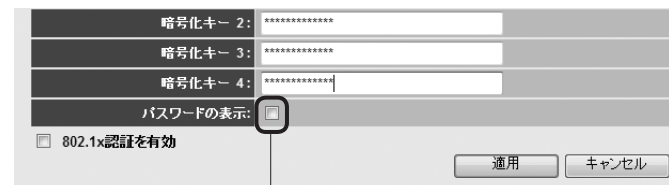
・ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

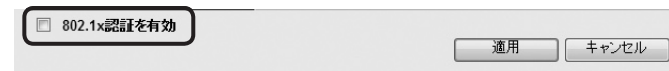
ASCII（5文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII（13文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字13文字を入力します。
Hex（10文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数10文字を入力します。
Hex（26文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数26文字を入力します。

※16進数とは、0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

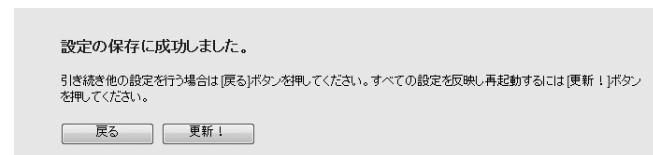
5 ［初期送信キー］で使用する暗号化キーのキー番号を選択します。

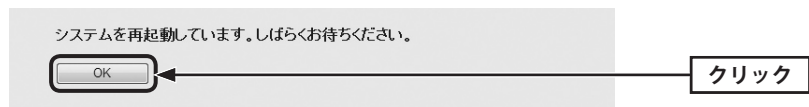
・暗号化キーは、1〜4までの4種類を登録しておくことができます。そのうちのどのキーを実際の無線LANで使用するかを選択します。

6 ［暗号化キー］のうち、手順 **5** で選んだキー番号に、手順 **4** で選んだ入力形式で、文字列を入力します。

・ASCIIの場合は大文字と小文字が区別されます。Hexの場合は大文字と小文字は区別されません。

7 オフィスユースなどで「802.1x認証」を使用している場合は、［802.1x認証を有効］をチェックします。

・ホームユースなど通常はオフのまま変更しないでください。

8 すべての設定が終われば 適用 をクリックします。

9 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。

●他の設定を続ける場合→ 戻る をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
●変更した設定を保存して有効にする場合→ 更新！ をクリックし、手順 10 へ進みます。

10 **「システムを再起動しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。**
［OK］にカウントが表示されます。カウントが0になり、ボタンが有効になれば［OK］をクリックします。

11 **これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線クライアント側にも設定してください。**

・無線クライアント側の設定方法は、無線クライアントの説明書をお読みください。

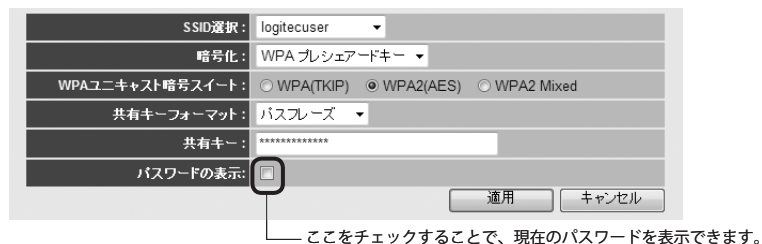
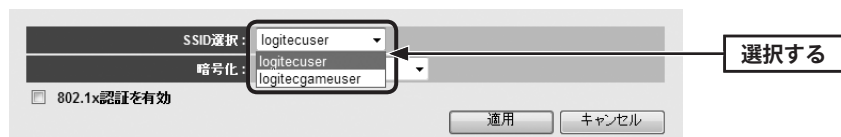
WPAプレシェアードキーの設定

WPAプレシェアードキー（WPA-PSK）を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。

注 意

本製品および本製品に接続する、すべての無線クライアントは、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

◆WPA-PSK選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 **［SSID選択］で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。**

2 **［暗号化］で、［WPAプレシェアードキー］を選択します。**

3 **［WPAユニキャスト暗号スイート］で、暗号化の種別を選択します。**

注 意

ご使用になる無線クライアントが対応している種別を選択します。本製品はWPA-PSKの場合は「TKIP」のみになります。

WPA（TKIP）	WPA-PSKのうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSKについては「AES」を選択できません。
WPA2（AES）	WPA2-PSKのうち暗号化形式に「AES」を使用します。
WPA2 Mixed	無線クライアントにWPA-PSK（「AES」または「TKIP」）とWPA2-PSK（「AES」または「TKIP」）が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線クライアントとも接続できます。また、無線クライアントがすべて「WPA2-PSK（TKIP）」の場合も、こちらを選択します。

4 **［共有キーフォーマット］で、共有キーの入力形式を選択します。**

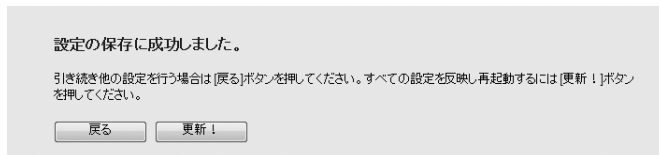
パスフレーズ	半角英数字（8〜63文字）を使用できます。
Hex（64文字）	16進数64文字（固定）を使用できます。

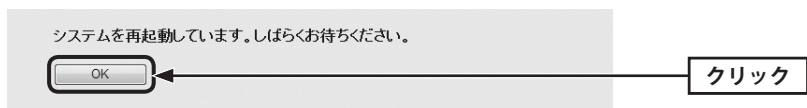
※16進数とは、半角英数字の0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

5 ［共有キー］に、手順 **4** で選択した入力形式で文字列を入力します。

パスフレーズ	半角英数字（8〜63文字）を入力します。大文字と小文字が区別されます。
Hex（64文字）	16進数64文字を入力します。64文字固定です。大文字と小文字は区別されません。

6 **すべての設定が終われば ［適用］ をクリックします。**

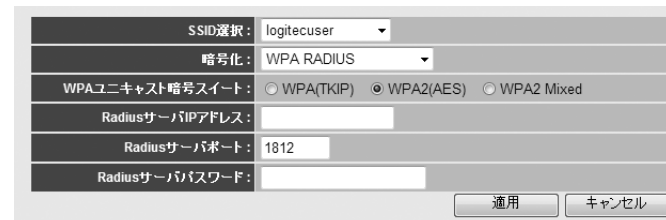
7 **「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**

●他の設定を続ける場合→ ［戻る］ をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
●変更した設定を保存して有効にする場合→ ［更新！］ をクリックし、手順 8 へ進みます。

8 **「システムを再起動しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。**
［OK］ にカウントが表示されます。カウントが0になり、ボタンが有効になれば ［OK］ をクリックします。

9 **これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線クライアント側にも設定してください。**

・無線クライアント側の設定方法は、無線クライアントの説明書をお読みください。

WPA RADIUSの設定

ビジネスユースなどでRADIUS認証サーバを利用している場合に設定します。設定が終われば、［適用］をクリックします。メッセージに従って設定を保存し、再起動してください。

◆WPA RADIUS選択時の設定画面

SSID選択		セキュリティ設定の対象となるSSIDを選択します。
暗号化		WPA RADIUSを選択します。
WPA ユニキャスト 暗号スイート	WPA（TKIP）	WPA-PSKのうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSKについては「AES」を選択できません。
	WPA2（AES）	WPA2-PSKのうち暗号化形式に「AES」を使用します。
	WPA2 Mixed	無線クライアントにWPA-PSK（「AES」または「TKIP」）とWPA2-PSK（「AES」または「TKIP」）が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線クライアントとも接続できます。また、無線クライアントがすべて「WPA2-PSK（TKIP）」の場合も、こちらを選択します。
RadiusサーバIPアドレス		RADIUSサーバのIPアドレスを指定します。
Radiusサーバポート		RADIUSサーバのポート番号を指定します。（初期値：1812）
Radiusサーバパスワード		RADIUSサーバのパスワードを入力します。

5 ツール機能を使う

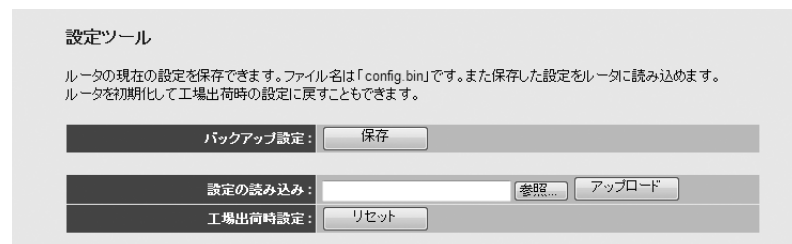
ツール機能には、設定の保存、設定の初期化（工場出荷時の状態に戻す）、ファームウェアのアップデートなどができます。

設定ツール

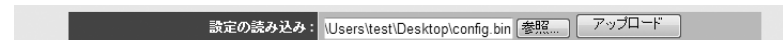
本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

［ホーム］で［管理ツール］を選択し、左のメニューリストから［設定ツール］を選択します。

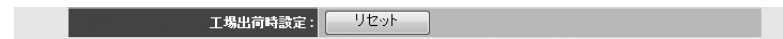
設定の保存方法

バックアップ設定：　保存

❶ 保存 をクリックします
❷〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、保存 をクリックします。
❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、保存 をクリックします。指定した場所に「config.bin」ファイルが保存されます。
❹〈ダウンロードの完了〉画面が表示されますので、閉じる をクリックします。〈設定ツール〉画面に戻ります。

設定の読み込み方法

設定の読み込み：　\Users\test\Desktop\config.bin　参照...　アップロード

❶［設定の読み込み］の 参照 をクリックします
❷〈ファイルの選択〉画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
❸ アップロード をクリックします。
❹ しばらくすると、「アップデートに成功しました！」と表示されますので、OK をクリックします。〈設定ツール〉画面に戻ります。

設定を初期化（工場出荷時の状態）に戻す

本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

工場出荷時設定：　リセット

❶［工場出荷時設定］の リセット をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ しばらくすると、「設定の読み込みに成功しました。」と表示されますので、OK をクリックします。〈設定ツール〉画面に戻ります。

ファームウェアのアップデート

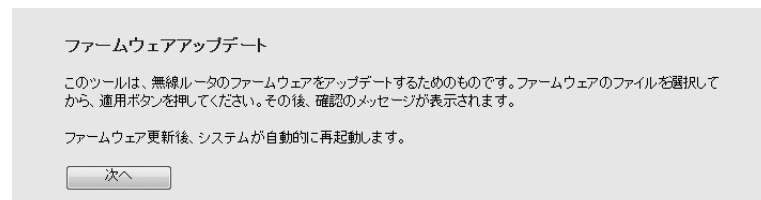
機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

画面の表示 **［ホーム］で［管理ツール］を選択し、左のメニューリストから［ファームウェアアップデート］を選択します。**

ファームウェアアップデート

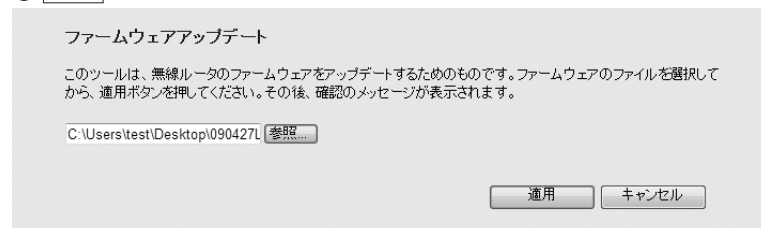
このツールは、無線ルータのファームウェアをアップデートするためのものです。ファームウェアのファイルを選択してから、適用ボタンを押してください。その後、確認のメッセージが表示されます。

ファームウェア更新後、システムが自動的に再起動します。

次へ

ファームウェアのアップデート手順

❶ 弊社Web サイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。

・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。

❷ 次へ をクリックします。

❸ 参照 をクリックします。

❹〈ファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。

❺ 適用 をクリックします。

❻ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。

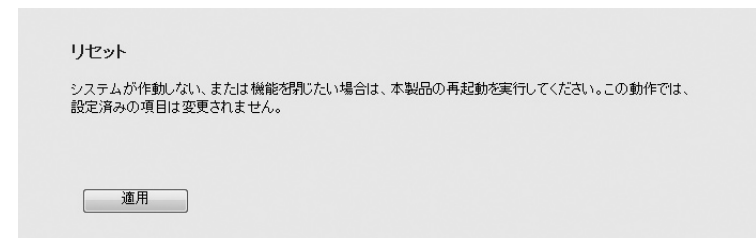
❼ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、OK をクリックします。

❽ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。

❾ 本製品の背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。
本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

本製品の再起動

本製品の動作が不安定になった場合など、システムを再起動したい場合に使用します。
なお、設定を変更中に、この画面から再起動しても変更した内容は反映されません。

［ホーム］で［管理ツール］を選択し、左のメニューリストから［リセット］を選択します。

再起動の手順

❶ 適用 をクリックします

❷ 再起動を確認する画面が表示されますので、 OK をクリックします。

❸ 再起動中に電源を切らないように注意を促すメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。

❹「システムを再起動しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。 OK にカウントが表示されます。カウントが0になり、ボタンが有効になれば OK をクリックします。

6 システム設定

パスワード設定

本製品の設定ユーティリティを表示するためのパスワードを設定/変更します。

画面の表示 **[ホーム]で[詳細設定（上級者向け）]を選択し、左のメニューリストから[システム]→[パスワード設定]を選択します。**

注意

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティの無線LAN設定にある「セキュリティ設定」には、無線LAN用に設定したパスワードを表示できる機能があります。設定ユーティリティのパスワードが初期値のままだと、初期値でログインしてパスワードを自由に確認することができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお進めします。

●変更後のパスワードを忘れないでください
変更後のパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

❶ [現在のパスワード]に、現在のパスワードを入力します。
❷ [新しいパスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
❸ [パスワードを確認]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❹ 適用 をクリックします
❺ 認証画面（→P23）が表示されますので、本製品のユーザー名と新しく設定したパスワードを入力し、OK をクリックします。
・[ホーム]が表示されます。

7 ステータス

[ホーム]→[機器のステータス]で、本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

ステータス

●項目の説明

モデル	本製品のモデルタイプを表示します。
アップ時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ハードウェアバージョン	それぞれのバージョンを表示します。トラブルが発生した場合に、必要になることがあります。
ブートコードバージョン	
ランタイムコードバージョン	

機器のステータス

●無線設定

モード	現在の通信モードを表示します。通信モードについては、無線LAN設定の「基本設定」をご覧ください。
SSID	現在使用中のSSIDを表示します。マルチSSIDを使用している場合は、ひとつめのSSIDが表示されます。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
セキュリティ	現在使用中のセキュリティ設定を表示します。

●LAN設定

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のLAN側のサブネットネットマスクを表示します。
DHCPサーバ	本製品のDHCPサーバ機能が有効か無効かを表示します。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

各種ログの表示

本製品には、システム、セキュリティ、無線アクセスの各ログを保存する機能があります。保存されたログは、［ホーム］→［機器のステータス］の各ログ画面を選ぶことで表示できます。ログはテキストファイルとして保存することもできます。

●各ボタンの機能

保存	ログをテキストファイルとして保存できます。このボタンをクリックすると、〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、保存先などを指定して、ログを保存します。
消去	現在、本製品上に保存されているログを、すべて消去します。
更新	表示中のログを最新の情報に更新します。

◆システムログ

◆セキュリティログ

◆無線アクセスログ

パケット統計

●パケット統計

無線LAN	本製品から見た無線LANにおける、パケット送信数と受信パケット数を表示します。
イーサネットLAN	本製品から見た有線LANにおける、パケット送信数と受信パケット数を表示します。

8 表示ランプを消灯する

本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える「節電モード」を選択できます。お部屋の照明を消したときなどに、LEDランプの点灯・点滅がわずらわしく感じる場合にも役立ちます。

電源（PWR）ランプのみ、節電モードでも点灯します。

設定の方法

❶［ホーム］にある［ランプ点灯］をクリックします。

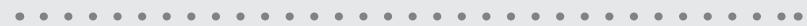
※ボタン名が［ランプ省電力モード］と表示されている場合は、すでに節電モードになっています。

❷ボタンが「ランプ点灯」→「ランプ省電力モード」に変化し、ボタンの上の丸いアイコンが、青色から白色に変わります。

❸ランプが消灯していることを確認します。電源ランプだけは節電モード時でも点灯します。

❹設定ユーティリティを閉じます。

再度ランプを点灯するには、［ランプ省電力モード］ボタンをクリックしてください。ボタンが「ランプ省電力モード」→「ランプ点灯」に変化し、ボタンの上の丸いアイコンが、白色から青色に変わると、ランプが点灯します。

Appendix

付 録 編

1 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②本製品のセキュリティ設定やMACアドレスフィルタリング（アクセスコントロール）設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線および無線クライアントのIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合

❶［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：


接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . :  fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . :  192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . :  255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . :  192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

❶［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

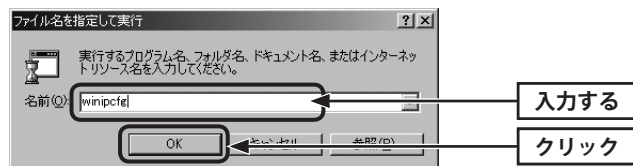
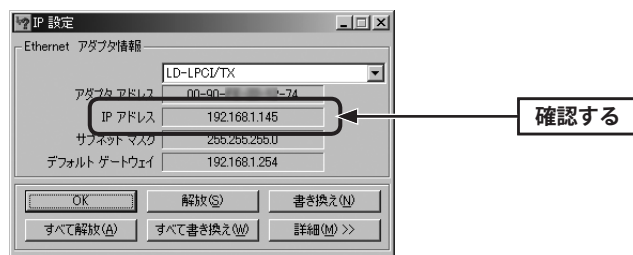
❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration


Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

Windows Me/98の場合

❶［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

❷「名前」に「winipcfg」と入力します。
❸［OK］ボタンをクリックします。

❹〈IP設定〉画面が表示されます。「IPアドレス」に「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

5 基本仕様

無線LAN部

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n適用時：最大150Mbps（MIMO使用時） 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	基板アンテナ1本
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）、MACアドレスフィルタリング
設定方式	WPS（ボタン搭載）

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	RJ-45×2ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

一般仕様

消費電力（定格）	1W（ACアダプタは含まず）
外形寸法	幅83×奥行79×高さ17mm（スタンドは含まず）
質量	約70g（ACアダプタ、スタンドは含まず）